

## テーマ別意見交換会の実施結果

### <目的>

実効性の高い活性化ビジョンを策定するため、「つながりによる創造」・「変革によるまちの継承」のキーワードを念頭に、主要な3つのテーマごとに、関わりの深いメンバーを対象に意見交換を行い、その内容を活性化ビジョンの検討に活かすことを目的とする。

テーマ	内容	日時
テーマ① 「暮らしの文化の継承」	生活に根差した暮らしの文化を、新しい住民や、次の世代へ継承	5月21日(月) 15時00分～17時00分 5月28日(月) 16時00分～18時00分
テーマ② 「京町家・路地の再評価、子育て・生活の場としての活用」	京町家や路地の魅力の再評価、子育て・生活の場としての活用	5月10日(木) 15時30分～17時30分 5月16日(水) 15時00分～17時00分
テーマ③ 「クリエイティブなものづくり」	西陣の蓄積と新たな人材・技術のコラボ、クリエイティブなものづくりのまちへの展開	5月22日(火) 18時00分～20時00分 5月31日(木) 19時00分～21時00分

### <進め方>

#### Step1:テーマに関する西陣の現状と将来イメージについて話し合い、イメージを共有する。

- 話題①：テーマに関する現状（ポテンシャルと課題）について  
 話題②：テーマに関連して、将来、こうなっていて欲しいと思う西陣の姿について

#### Step2:西陣の将来イメージの実現に向けた取組のアイデアを出し合う。 （施策の方向性・「種」を明らかにする）

- 話題③：将来イメージの実現のために、どのような取組が必要と思うか（施策の方向性の洗い出し・施策の「種」の検討）

#### Step3:アイデアに基づき、具体的に取組を進めるための手法を検討する。

- 話題④：話題③で出てきたアイデアを実現するために、自分たちはどのようなことが出来るか、行政や事業者の役割分担はどうか、具体的な取組のための問題点・課題はどのようなものか、自分たちが取り組むために、どのような支援があればよいか 等

<参加者> ※検討委員会委員

### テーマ①「暮らしの文化の継承」

岡元 麻有	be 京都 館長
高家 啓太	(株) 塩芳軒 代表取締役
田村 圭吾	(株) 萬重 若主人
古谷 善博	(一社) 茶道裏千家淡交会総本部運営企画部 部長
山中 恵美子	京まちや平安宮 代表
鳴橋 明美 ※	鳴橋庵 代表
新川 達郎 ※	同志社大学大学院総合政策科学研究科 教授
濱崎 加奈子 ※	(公財) 有斐斎弘道館 館長
冷泉 貴実子 ※	上京区文化振興会 会長

### テーマ②「京町家・路地の再評価, 子育て・生活の場としての活用」

飯高 克昌	(特非) ANEWAL Gallery 代表理事
富家 裕久	富家建築設計事務所 代表
中山 あい	(福) 西陣会 西陣児童館 館長
森 紗恵子	爪搔き綴れ 織り子
吉田 創一	(株) フラットエージェンシー 代表取締役
上林 研二 ※	上京区社会福祉協議会 会長
高田 光雄 ※	京都美術工芸大学工芸学部 教授

### テーマ③「クリエイティブなものづくり」

浅井 俊子	(一社) Impact Hub Kyoto 代表理事
北林 功	COS KYOTO (株) 代表取締役
野島 孝介	吉靴房 代表
細尾 真孝	(株) 細尾 常務取締役
水谷 善彦	京都信用金庫西陣支店 支店長
赤星 周平 ※	(公財) 京都文化交流コンベンションビューロー 国際コンベンション部長 (公社) 京都市観光協会事務局次長兼国際誘客推進部長
高田 光雄 ※	京都美術工芸大学工芸学部 教授
タナカ ユウヤ ※	(株) ツナグム 取締役
新川 達郎 ※	同志社大学大学院総合政策科学研究科 教授
福岡 裕典 ※	(有) フクオカ機業 代表取締役
吉田 満梨 ※	立命館大学経営学部 准教授

趣旨

西陣を中心とした地域における暮らしの文化の魅力や課題、新住民や次世代に継承していくために必要なこと等について意見交換



STEP 1  
現状の共有

ポテンシャル

- ・御所があること（公家の文化）
- ・日本の中心だった歴史と誇り
- ・生活の中に文化がある
- ・文化を支える空間・建物がある
- ・生活文化に興味のある人は常に一定数いる

課題

- ・若い人と西陣の暮らしに距離感がある（西陣の良さが若者に伝わらない）
- ・住んでいる人と新住民に距離感がある（感覚の乖離がある）
- ・文化や歴史を知っている人の高齢化で、続いてきたものが消滅する危機
- ・文化を支える歴史的建築物・町並みが崩れている
- ・地名や呼び名（料理の名前など）が失われつつある
- ・西陣の物語が薄くなってきている。語られていない物語が多い
- ・上質な暮らしの文化を感じるチャンスは多くあるが、どうつなぐかが課題

STEP 2  
活性化のアイデア・種

京都御所や公家文化の世界遺産化（価値が高いことをアピールすることが必要）

若い人への教育、年配の人への気づきの取組

守ることは知ること。歴史を知ることから始める

子どもと一緒に暮らしの文化を楽しめる企画（歴史・文化・宝探しプロジェクトなど）

文化を伝える場として祭りを活用

名前や隠れた物語の掘り起こし

「暮らしの文化」を残しながら、時代に合わせて、新しいものをつくりあげる

STEP 3  
活性化に向けた取組例

御所・公家文化の打出し

- ・宮廷文化（御所、公家文化、門跡寺院など）を掘り起こし、発信することで、地域の求心力を高める
- ・宮廷文化を支えてきた職人に着目する
- ・宮廷文化由来のものに着目する（料理教室など）
- ・文化庁移転を契機にする
- ・世界遺産化を目指してはどうか
- ・近世公家文化の研究所をつくれればどうか

来訪者が西陣の文化を体感

- ・365日暮らしに根付いた文化を体験できるまち
- ・興味のある人が訪れたいくなる仕組みづくり（文化の語り部）
- ・地域の魅力を発信するエリアガイドの作成
- ・イベントを歴史のある場所（御所や御苑など）で開催する

暮らしの文化を取り戻し、継承

- ・暮らしの文化を楽しみながら学べる体験をプログラム化し、楽しみながら取り組む運動を広げる
- ・五節句など、暮らしの文化の「物語」を楽しみながら伝える（背景にある意味が分かると、より大切なものになる）（イベントの場として、御所や寺社等を活用）
- ・商店街を暮らしの文化を取り戻すモデルエリアに
- ・本物を大切にしながら、新しいことを始める  
例）誕生日を和菓子で祝う
- ・遺産化しないために、変化を許容して残していくことが大切
- ・暮らしの文化などを残すためのルールづくり
- ・生活の中で残すことが難しいものは記録として残す

【子どもへの継承】

- ・教育の一環として子どもたちが地域のことを学ぶ（地域ボランティアの活用等）
- ・子どもたちに地域のことを教えるイベントの開催
- ・大人の方に子どもを連れて行くことで自然に生活文化を学ぶ

趣旨

西陣を中心とした地域における京町家や路地を取り巻く現状や魅力、子育てや生活の場として活用されるために必要なこと等について意見交換



STEP 1  
現状の共有

ポテンシャル

- ・暮らしの場と一緒にあった、生きている文化
- ・遺産化していない「西陣の文化」
- ・路地と京町家の町並みによる西陣らしい景観
- ・暮らしとともにある「ものづくり」の場
- ・古くからの職住近接の暮らしに育まれた地域力・コミュニティ
- ・安全な路地空間とさりげない見守り、地域ぐるみの子育て環境

課題

- ・京町家の維持・保存
- ・細街路対策、防犯・防災対策、「防災文化」（人の力で安全に）
- ・西陣織の継承
- ・高齢化、人口減少
- ・京町家等の非生活利用による子育て世帯の減少、コミュニティの維持
- ・キーパーソンとなる人材、地区内の団塊の世代や地区外の団塊の世代ジュニアとの連携

STEP 2  
活性化のアイデア・種

西陣の路地でテーマを特化したモデル地区づくり  
(子育て世帯・クリエイター・アーティスト等)

子育て世帯に対する魅力の向上の取組（学校等）

伝統産業と、伝統産業の生業の場としての町家PR  
「まちなみ」は、「ひとなみ」

地域に関わる人材の発見・育成

地域の魅力の情報発信

STEP 3  
活性化に向けた取組例

子育てに特化した路地モデル事業

- ・路地に子育て世帯の呼び込みや、学童や子ども食堂などの活用
- ・協力意向のある路地所有者を見つけ、小さい単位から実施
- ・助成制度による支援
- ・子育て世代に対する、西陣での路地暮らしの魅力のPR
- ・モデル事業やイベント等の実施により、子育ての場としての路地の再評価、魅力の情報発信
- ・子育て世帯と不動産を繋ぐ、コーディネーターの育成
- ・防災文化の継承を含めた防災まちづくりの推進

子育てしやすい西陣のPR

- ・子育て世帯にとっての魅力向上
- ・地域の子どもの見守り、魅力的な学校、児童館・学童の充実等
- ・子育て支援の情報発信（制度、人、場、モデル事例など）
- ・空き家等を活用して、小規模な子育て支援の場を設置

職人やクリエイターに特化した路地活用モデル事業

- ・陶芸の窯や、IT環境等、共用設備を設置した路地
- ・協力意向のある路地所有者を見つけ、小さい単位から実施
- ・作り手が集まるデザインフェスタ等の場でのPR
- ・入居希望者と不動産とをつなぐコーディネーターの育成
- ・外国人に対する生活サポート
- ・職人、クリエイター同士の交流による多彩な創造活動

京町家を生活の場として継承

- ・京町家所有者に対する意識啓発（住宅用賃貸としての活用意向の拡大）
- ・適正な価格での提供（サブリースなどのモデル事業）
- ・改修費の負担軽減
- ・京町家のイメージアップ
- ・伝統産業等と結びついた職住一致のメリットの情報発信

趣旨

西陣を中心とした地域における産業やクリエイティブなものづくりを取り巻く現状や可能性、クリエイティブなまちの実現のために必要なこと等について意見交換



STEP 1  
現状の共有

ポテンシャル

- ・西陣の底力（人・文化・技）が熟成しているタイミング
- ・一流の技術をはじめ多様な魅力の蓄積
- ・クリエイティブな拠点や場がある
- ・先進性・独自性を受け入れる素地がある
- ・低家賃の不動産
- ・都市部にありながら、準工業地域で音を出せる貴重な地域（クリエイターにとって魅力）
- ・生活する上でのインフラが概ね20分以内に整っている（利便性が高い）

課題

- ・地域を支える産業の不在
- ・事業者間のつながりが弱い
- ・地価が上昇しつつある
- ・寛容性の低さ
- ・認めてもらうまで時間がかかる
- ・若い人（学生）が西陣の魅力を知らない
- ・交通利便性が低いエリアがある

STEP 2  
活性化のアイデア・種

クリエイティブな人や活動を見える化する→起業の磁力となる（西陣の製品を一堂に展示、オープンファクトリーなど）

クリエイター同士のつながり、仲間づくり（ライバルではない）

場や情報の提供など様々な取組・サポートにより、西陣を「クリエイティブなまち」として国内外に印象づける

若いクリエイティブな人材が食べていけるまで支援

インキュベーション機能のあるものづくり学校の設置

クラフトソンなどアイデアを形にする取組を町中で行う

STEP 3  
活性化に向けた取組例

「ものづくりのまち」としてのブランド化の推進

- ・「ものづくりのまち・西陣」ブランドを高める
- ・西陣共通のアイコン・ブランド化
- ・「伝統」と「ハイテク」の組み合わせなど、面白さ、遊び心のあるコンテンツで西陣を実験場にする
- ・豊富な資源（リソース）を掛け合わせる仕組みを作り、新しいものづくりや価値観、マーケットを作る
- ・まちに対する想い、シビックプライドをものづくりにつなげる

西陣ならではのグローバル化の推進

- ・地域の文脈を継承した西陣ならではのグローバル化を進める
- ・均質的なグローバル化ではなく、地域の文脈を継承しながら多様な文化に対応する
- ・地域の方向性に合う価値観の人が集まる工夫が必要
- ・地域の魅力や面白さをアプリ等で案内

クリエイティブな人材を集め、繋げる仕組み

- ・西陣でチャレンジしたくなる環境づくり
- ・資源（リソース）や人の見える化、データベース化
- ・人知れず活動しているアーティスト等をつなげる仕組みづくり
- ・飲食しながら、交流できる場や沙龙的な場所が重要
- ・試作を設備面で支援するラボ等の設置（3Dプリンタ等）

西陣の魅力を活かした起業支援

- ・起業者を支えるメンターや町衆ネットワークが必要
- ・気軽に会える場・機会の提供
- ・多様で柔軟な金融支援（起業家支援・複数での起業の支援）
- ・西陣にあるリソースの余剰を起業家や事業者とマッチング
- ・シェアリングエコノミーの推進による新しいものづくり
- ・再チャレンジへの支援

職人のブランド化

- ・職人、つくり手がリスペクトされる仕組みづくり
- ・職人の想いや言葉を代弁・マネジメントする人とのマッチング
- ・ビジネスパートナーとしての職人の育成